



## 第24回 阪奈和高等学校対抗陸上競技大会

### 競技注意事項

#### 1 競技規則について

本大会に適用する規則は、2025年 公益財団法人 日本陸上競技連盟競技規則及び大会規定である。

#### 2 プログラムの訂正について

プログラムの訂正が必要な際には、各府県で取りまとめ、9：00までに大会本部に届け出ること。  
なお、選手の変更は認めない。

#### 3 練習について

(1) 練習の時間帯は、下記の通り。

	本競技場	補助競技場
4月29日(火)	8：00～ 9：15	8：00～17：00

※本競技場では、競技会運営の準備も並行しておこなうので、安全に十分注意すること

※補助競技場では、投てき競技の一部が競技を実施している時間帯は、練習場所を規制する。

- (2) 「雨天走路」は、手狭なスペースであるので、安全に十分留意すること。北 → 南への一方向とする。  
(3) 投てき練習(メディスンボール練習等も含む)は、公式練習以外、競技場内外を問わず一切禁止する。

#### 4 招集について

(1) 招集所は、メインスタンド2F裏・通路北側に設ける。

(2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。

(3) 携帯電話・スマートフォン・タブレット等の電子通信機器は、招集所内・競技エリア内に持ち込まないこと。

(4) 招集の手順

- ① 競技者は、招集開始時刻までに招集所で待機し、競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス、競技で使用するシューズの確認を受ける。
- ② トラック種目は、競技者係の点呼を受け、オープンレーン種目については同時に腰ナンバーを受け取り、右腰のやや後方につけること。
- ③ 代理人による招集の点呼は認めない。ただし、同日に2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、第1種目の招集開始時刻までに、本人が所定の「多種目同時出場届」(用紙は招集所に準備)を競技者係へ提出し、併せて招集を受けることができない種目の点呼(アスリートビブス、競技で使用するシューズの確認)を受けておくこと。その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。
- ④ 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場する意思がないものとみなし処理する。

(5) リレー種目について

- ① 「オーダー用紙」(用紙は招集所に準備)は、その種目の第1組目の招集完了時刻の1時間前までに競技者係(招集所)へ提出すること。「オーダー用紙」の提出がない場合は、出場する意思がないものとみなし処理する。
- ② 出場メンバー全員が点呼を受けること。ただし、他種目に出場している場合は、上記(4)③に準ずる。
- ③ ユニフォームは、同一校と判断できるものを原則とする。

(6) 招集所から競技場所への移動は、競技者係の指示に従うこと。

(7) やむなく欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」(用紙は招集所に準備)を招集所へ提出すること。

#### 5 競技進行について

(1) 競技について

- ① 競技結果については、場内アナウンス発表するとともに、「奈良県高体連 陸上競技専門部WEBページ」に掲載する。なお、競技結果が場内アナウンスされた時点をもって正式発表とする。
- ② 当該種目出場の競技者以外は、競技エリア内に立ち入ることはできない。
- ③ スパイクのピンの本数は、11本以内とし、長さは9mm以内のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投については12mm以内とする。また、先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合しなければならない。
- ④ アスリートビブスは、配布された大きさのままで、ユニフォームの胸部と背部つけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでもよい。
- ⑤ 不正スタートについては、一度の不正スタートでもその責任を有する競技者は失格とする。
- ⑥ 男子5000m・女子3000m・男女5000mWは、危険防止のためグループスタートでおこなう。
- ⑦ トラック競技の短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当て



## 第24回 阪奈和高等学校対抗陸上競技大会

られたレーン(曲走路)を走ること。

- ⑧ 競技エリア内に携帯電話、スマートフォン、タブレット等の電子通信機器を持ち込むことはできない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技の映像等の録画再生機器等をスタンドからの手渡しや吊り下げにより競技区域内に持ち込むことは認めない。サイドおよびバックスタンド、補助競技場においては、この限りではない。
- ⑨ 競技場内での練習は競技役員の指示に従うこと。
- ⑩ 三段跳の踏切板は、男子 12m00、女子 10m00 に設置する。

(2) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記の通り。

男子 走高跳	決勝	(練習) 1m65 1m80	1m70-75-80-83-86 以後 3cm ずつ
女子 走高跳	決勝	(練習) 1m40 1m55	1m45-50-53-56-59 以後 3cm ずつ
男子 棒高跳	決勝	(練習) 3m80 4m50 5m00	4m00-10-20 以後10cm ずつ
女子 棒高跳	決勝	(練習) 2m30 3m00 3m60	2m40-50-60 以後10cm ずつ

同記録による1位決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

### 6 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。
- (2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。その場合、出場競技者全員で共有できるものとする。競技終了後、競技場所または南用器具庫で返却する。検査時刻は、競技開始時刻の80分前から60分前までとし、南用器具庫(フィニッシュ地点横)でおこなう。

### 7 表彰について

各種目3位までの入賞者は、結果発表のアナウンス終了後、速やかにメインスタンド下の中央ロビー横役員室に、賞状を取りに来ること。

### 8 一般的注意事項

- (1) 競技場の開門は、8時00分とする。
- (2) 競技者の入退場は競技場の各ゲートから行き、みだりに競技場内(本部席前)の横断や通過はしないこと。
- (3) 待機場所について
  - ・メインスタンド：通路より上(屋根の下の場所取りは禁止)
  - ・サイド、バックスタンド：中段通路より上
  - ・補助競技場：ホームストレート側土手の上
  - ・外周：競技場の壁沿いに3m程度※前日からの場所取りは厳禁する
- (4) 応援はスタンドで行い、立入り禁止区域には入らないこと。メインスタンドでの集団応援は禁止する。
- (5) 更衣室の使用は、更衣のみとし、私語はせず、使用後は速やかに退室すること。また、一切の私物を置いてはならない。
- (6) 競技中に起こったケガについては、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (7) スタンド等使用した場所は、各校で責任を持って清掃し、ゴミ等は各校で持ち帰ること。駅・競技場周辺のゴミ箱等には絶対放置しないこと。
- (8) 貴重品、荷物等は各自・各校で管理し、盗難等に十分注意すること。
- (9) 個人情報の取り扱いに関して
  - ① 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しない。
  - ② 参加申込書の提出により、上記①の取り扱いに承諾を得たものと見なし氏名・学校名・学年・記録を紹介し掲示板に掲載する。また、本大会が認めた報道機関にも公表する。入賞者は報道機関の取材を受けることがある。
  - ③ 本部が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・大会報告書・ホームページ等で公表されることがある。



## 第24回 阪奈和高等学校対抗陸上競技大会

---

### 9 悪天候時の対応について

落雷の危険があると判断された場合、選手・観客・関係者の皆さまの安全を最優先とし、競技を一時中断、または開始を見合わせる可能性があります。この中断・見合わせに伴い、中断時間帯に予定されていた競技は、天候が回復した際も実施いたしません。競技は、再開が可能となった時点でのスケジュールに従い、以降の時間帯の競技から順次再開いたします。